

# 「AKB」と考える憲法

異色の憲法入門書『憲法主義―条文には書かれていない本質』（PHP研究所）＝写真＝が話題になっている。人気アイドルグループ「AKB48」のメンバーで、憲法を暗唱できる内山奈月さん（ひと）と、九州大准教授の南野森さんの共著。マンツーマン講義を一冊にまとめた南野さんに聞いた。

（野村大輔）

九州大の  
南野森准教授



## 暗唱アイドルと共著 南野 森さん



安倍政権の誕生以降、憲法をめぐる言説は増えたが、誤った情報があふれている現状に憲法学者として不満があった。憲法を改正するのならば最終的に決めるのは国民。政治思想に関係なく、憲法の基本を正確に理解した上での議論が欠かせない。そう考えていた昨夏、内山さんに憲法を教える企画を依頼された。AKB48については詳しくない。まして憲法を暗唱するアイドルの存在を初め

て知った。しかし「これまで書いた専門書は読者が限られた。多くの人に憲法を理解してもらおうチャンス」と考え、依頼を引き受けた。今年二月、東京で二日間の講義が実現した。AKB48の「恋愛禁止」というルールは憲法違反か。内山さんにこんな問い掛けもした。「AKB48の偉い人は国家権力ではない」との理由で、違憲ではないという結論を導いた。講義を通じて特に伝えたかったのは、憲法は国家権力を対象とし、国家権力を縛ることで人権を保障するということ。集団的自衛権の行使を可能とする憲法解釈変更にも触れ、「内閣総

理大臣の一存で『解釈改憲』ができてしまうなら、憲法の拘束力はなくなってしまう」と説いた。京都出身。東京法学部に入学した時期は激動期だった。一九八九年、ベルリンの壁が崩壊、東欧全域に民主化革命が広がった。九〇年には、天皇の戦争責任に言及した当時の長崎市長が銃撃された。「国家のあり方や自由社会を考えるのが憲法」と興味を持った。講義を終え、内山さんに対して抱いた印象は「快活で聡明」。彼女の講義ノートも共著に盛り込んだ。「法学部以外の学生や高校生に読んでもらいたい」